

新規実施検査項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
このたび下記検査項目におきまして、新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。

敬具

記

■ 受託開始日

平成 29 年 8 月 1 日 (火) ご依頼分より

■ 新規項目内容

項目コード	検査項目	検体量	実施料 判断料	所要日数	基準値
0739	百日咳抗体 IgA	血清 0.2ml	80点 免疫学的	2~4	8.5未満 陰性 判定基準：次項参照
0740	百日咳抗体 IgM				

外注先 SRL

- 百日咳抗体 IgA
- 百日咳抗体 IgM

単一血清での診断補助検査として、百日咳の早期診断に貢献します。

百日咳は、主に百日咳菌の気道感染による急性呼吸器感染症であり、ワクチン接種前や未完了の乳幼児が発症した場合、重症化する傾向があります。2000年以降はワクチン効果が減弱した成人患者の報告数が増加し、乳幼児に対する感染源となっていることから、成人を含めた早期診断・治療開始が重要と考えられています。

百日咳の検査は、培養と百日咳抗体 IgGに加え、2016年11月より遺伝子検査が保険適用となっています。百日咳抗体 IgAとIgMが加わることで、早期診断への検査体制がさらに充実することとなりました。

百日咳抗体 IgAは、百日咳毒素（PT）および繊維状赤血球凝集素（FHA）の総IgA抗体価を測定し、百日咳抗体 IgMは、百日咳菌に対するIgM抗体価を測定いたします。

IgA抗体は病日約21日、IgM抗体は病日約15日をピークに発現し、IgA抗体はIgM抗体よりも持続して検出されることが確認されています。IgAおよびIgM抗体はワクチンの影響を受けないため、これまで急性期と

回復期のペア血清を必要とした抗体検査において、単一血清での診断率向上が期待されています。

▼判定基準 百日咳抗体 IgA, 百日咳抗体 IgM

NTU値	判定
<8.5	陰性 (-)
8.5~11.5	判定保留 (±) ※
> 11.5	陽性 (+)

※2~4週間後に採血した血清による再検査をお勧めいたします。